



# 紙中心の運営からデジタル活用へ 保護者連携を強化し、教室運営を効率化 山王学院が語る FLENS School Manager 導入効果

## 保護者とのコミュニケーション強化と業務の効率化

私たち山王学院は、愛知県半田市を拠点に37年にわたり、地域の子どもの学びを支えてきました。子どもたちが受験(受検)を通じて、「自ら目標を立て」「自ら取り組み」「自ら目標を達成する」こと。これは創設以来、山王学院が大切にしてきた考えです。その実現に向けて、独自のカリキュラムを作成し、必要に応じて学年の枠を超えた内容も指導しています。また、教師一人ひとりが大切にしていることの一つに、「教育者としての倫理を守る」と



教務課 校長 小磯 祐子 氏



事務課 事務統括 新美 留美 氏

導入するにあたっては最初の保護者へのご案内が大事だと思っておりましたが、FLENSさんの方でテンプレートが用意されており、大きな負担もなく、スムーズに進められました。保護者も協力的でアプリに慣れている方が多く、トラブルはありませんでした。中には「子どもに『紙を出して!』と言わなくてよくなった」と喜んでくださる保護者の方もいました。

## アプリでの講習案内&申込機能の活用で回収率が向上

当塾には「IT専門の部署がなく、導入前は『本当に使いこなせるだろうか』という不安もありました。しかし、導入準備の段階からFLENS Sさんには丁寧にサポートしていただき、分からないこともすぐに相談できたので、安心して運用をスタートすることができました。

特に効果を実感しているのが「面談予約機能」です。以前は電話やメールで一人ひとりの日程を調整していたため、担当者の負担も決して小さくありませんでした。予約変更が発生すると、そのたびに再調整が必要でした。現在は保護者の方ご自身で空いている枠を選んで予約していただけますし、変更もシステム上で行え、リマインドメールも自動で送信できます。私たちの中では「神機能」と呼ぶたくなるほど重要になっています。結果、面談に関する事務作業が大幅に削減されました。私たちにとっては保護者の方

愛知県半田市で37年にわたり地域教育を支えてきた山王学院(合田威里代表取締役)。同塾が理念として掲げていることの一つに「教育者の倫理を守る」ことがある。生徒一人ひとりの成長を見守り、支えることはもちろん、「教師自身も成長し続ける組織」であることを大切にしてきた。その姿勢が、長年にわたる地域からの信頼につながっている。同塾がFLENS School Manager(以下、スクールマネージャー)を導入したのは2025年3月。映像授業の配信体制を整えるとともに、コロナ禍で顕在化した保護者との情報共有の課題を解決するためだった。導入の経緯とその効果について主に教務面での運用を担当した教務課 校長の小磯祐子氏と主に事務面での運用を担当した事務課 事務統括の新美留美氏に話をうかがった。

「自分が子どもの頃に通っていたので、最近では「自分が子どもの頃に通っていた」とお話しくださる保護者の方も増えてきました。長年にわたり地域の皆様に支えていただいていることを、改めて実感しています。こうした地域とのつながりを維持していくうえで欠かせないのが、保護者の皆さまとの信頼関係です。そのため私たちは、日々の学習指導だけでなく、保護者とのコミュニケーションも大切にしてきました。

スクールマネージャー導入を検討し始めたきっかけは、授業の映像配信管理の効率化を図りたいと考えたことです。また、それまでの私たちは紙のお知らせを生徒経由で配付する運用が

にとっても、負担を減らしながらスムーズに面談を実施できるようにしたいと感じています。また、スクールマネージャーは講習や模試の申込管理でも大きな効果を発揮しています。以前はオプション講座や任意模試を実施するたびに、申込書の配付・回収・集計といった作業が発生していました。講習会シーズンには特に業務量が増えるため、この作業にはかなりの時間を要していました。現在は案内配信から申し込みまでをシステム上で完結できるようになり、管理業務が大幅に効率化されています。

導入から約1年が経ち、当初の目的だった映像授業の配信、保護者への確実な情報提供、業務効率化は十分に実現できていると感じています。生徒情報の確認や各種管理業務も行いやすくなり、教室運営全体の効率向上につながりました。保護者とのチャット機能については、返信対応の負担なども考慮し、現時点では利用していませんが、欠席時の振替連絡などにも活用できるため、今後は体制を整備し、スクールマネージャーが持つ「学習記録」や「宿題管理」といった学習面の機能につい

冬期講習必修講座【理科②】オン...

必修講座理科2

(1)次の実験について、あとの問いに答えなさい。【実験1】 図1のような、うすい塩酸10.0cm<sup>3</sup>(立方センチメートル)を入れた容器を4個準備し、小さい穴の開いた栓の先端から糸を通して、それぞれ長さのちがうマグネシウムリボンをつるし、栓をした。次に図2のように、容器を水そうの中に入れ、糸を引きぬきマグネシウムリボンを塩酸の中に落とし、発生した気体をメスシリンダーに集めて体積を測定した。表1はその結果を表し、図3は表1をもとに、マグネシウムリボンの長さで発生した気体の体積との関係をグラフに表したものである。

実験1で発生した気体は何か、1つ選びなさい。

リボン長さ (cm)	発生した気体の体積 (cm <sup>3</sup> )
1.0	3.0
2.0	6.0
3.0	9.0
4.0	12.0

図1 図2 図3

図1: 実験装置の概略図。図2: 実験装置の断面図。図3: 発生した気体の体積とリボン長さの関係を示すグラフ。

表1

リボン長さ (cm)	発生した気体の体積 (cm <sup>3</sup> )
1.0	3.0
2.0	6.0
3.0	9.0
4.0	12.0

図4

リボン長さ (cm)	発生した気体の体積 (cm <sup>3</sup> )
0	0.0
1.0	3.0
2.0	6.0
3.0	9.0
4.0	12.0

図5

リボン長さ (cm)	発生した気体の体積 (cm <sup>3</sup> )
0	0.0
1.0	3.0
2.0	6.0
3.0	9.0
4.0	12.0

図6

図7

図8

図9

図10

図11

図12

図13

図14

図15

図16

図17

図18

図19

図20

図21

図22

図23

図24

図25

図26

図27

図28

図29

図30

図31

図32

図33

図34

図35

図36

図37

図38

図39

図40

図41

図42

図43

図44

図45

図46

図47

図48

図49

図50

図51

図52

図53

図54

図55

図56

図57

図58

図59

図60

図61

図62

図63

図64

図65

図66

図67

図68

図69

図70

図71

図72

図73

図74

図75

図76

図77

図78

図79

図80

図81

図82

図83

図84

図85

図86

図87

図88

図89

図90

図91

図92

図93

図94

図95

図96

図97

図98

図99

図100

School Manager

製品紹介ページはこちら

QRコード

塾からの情報が確実に保護者に届くようになった

導入後、最も大きな変化を感じたのは情報共有の部分です。以前は紙のお知らせが中心だったため、どうしても保護者の方に情報が届かないことがありました。配付したつもりでも、生徒のカバンの中に入ったままになってしまったり、これは多くの塾で共通する悩みではないでしょうか。

現在はアプリを通じて直接配信できるため、重要な連絡事項や教室からのお知らせを確実に届けられるようになりました。保護者の方もスマートフォンからすぐに内容を確認できるた